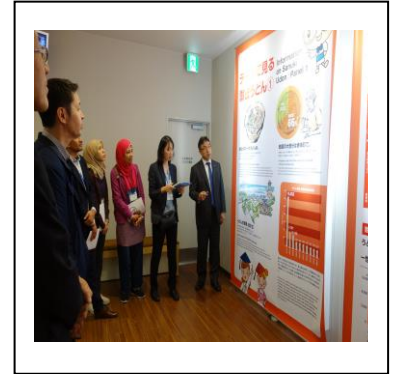


開発途上国の統計担当職員 10 名が 統計実務を学びに来日

日本の統計業務に関する実地研修のため、長崎県を訪問します！

国際協力機構 東京センター（JICA東京）と国連アジア太平洋統計研修所（Statistical Institute for Asia and the Pacific 以下、SIAP）では、持続可能な開発目標（SDGs）のモニタリングに必要な公的統計データと指標作成のために、各国統計担当職員の知識とスキルを向上させる研修を提供しています。統計は、生活を支える重要な情報基盤であるとともに、各国の国づくりを進める上で必要な基礎データとなるものであり、その意味で、信頼のできる統計の作成と利用が重要です。このようなニーズに応えるために途上国における統計分野での人材育成が急務となっています。



過去の研修風景(香川県)

今回、長崎県庁訪問時には、長崎県統計課を視察し「統計からみる長崎県の特徴」について伺うほか、実地研修中に訪問する調査区の概要について学びます。本実地研修を通して、日本における統計調査の実務を学び、研修員の統計業務に関する実践的な能力向上に生かしていただくことを目指します。

ぜひ取材・報道をご検討ください。なお、取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先に10月5日（木）17時までに事前連絡をお願いいたします。

<取材可能な日程>※当日は研修監理員が同行し、通訳（日本語-英語）を行います。

日時	内容	場所
10/11(水) 14:00~16:50	家計調査に関する講義、長崎県統計課視察	長崎県庁※

※ 詳細はお問い合わせください

<研修概要>

研修コース名 : 課題別研修「持続可能な開発目標（SDGs）のモニタリングのための公的統計の理論と実務」

全体研修期間 : 2023年8月16日~2023年12月2日

研修参加国 : アンゴラ、カザフスタン、キルギス、セントビンセントグレナディーン、ソロモン、タンザニア、フィジー、マリ、ミクロネシア、モンゴルからの統計職員 合計10名

【取材のお申し込みや本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 産業開発・公共政策課 酒井・高瀬

TEL 03-3485-7635 e-mail : Sakai.Hikari@jica.go.jp / Takase.Yoko@jica.go.jp